 函 食		等專門学校	開講年度	平成29年度(2	2017年度)	授	業科目	高電圧プラ	デズマ	
 科目基础		3 (31 3 3 12	1/13213 1 /2	111111111111111111111111111111111111111		1 322			,,,	
科目番号 0348				科目区分		専門 / 選択				
授業形態							履修単位: 1			
			ステム工学科	テム丁学科			5			
開設期後期					週時間数	時間数 2				
教科書/教		未定		·						
担当教員		三島 裕	 尌							
到達目	 標	•								
		7の発生・利	用法がわかる。							
2. インハ	『ルス高電圧	の発生原理	および計測法がわれ	いる。						
ルーブ	リック									
			理想的な到達し	ノベルの目安	標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安					
評価項目1					高電圧・プラズマの発生原理を説		高電圧・プラズマの発生原理を認			
				破壊を説明できる。 明できる。 右記に加えて、インパルス高電圧 マンパルフ 宣電			明できない。			
評価項目	2		付託に加えて, 発生器の原理を	インハルス高電圧 記説明でき,計測法	インパルス高電圧の定義を説明きる。				高電圧の定義を説明て	
			を説明できる。		<u> </u> ප්වං					
学科の	到達目標	項目との関	目係 ニーニー							
教育方法	法等									
		本講義で	ごは, 高電圧大電流	の物理的な現象,発	生方法,測定方法	, ならひ	に高電圧	エ学の電力機	器への応用について学	
概要 習する。当ることを目			当該分野の第2種	電気主任技術者試験	問題を解くことが	でき, そ	れらの知言	哉を卒業研究(等の実問題に活用でき	
			本講義では,高電圧大電流の物理的な現象,発生方法,測定方法,ならびに高電圧工学の電力機器への応用について学習する。当該分野の第2種電気主任技術者試験問題を解くことができ,それらの知識を卒業研究等の実問題に活用できることを目指す。 ・本講義は,高圧大電流・プラズマの物理的な現象,気体・液体の絶縁破壊および絶縁材料の特性,高電圧大電流の発生・計測方法,ならびに高電圧工学の電力機器への応用等について講義する。電気電子材料,エネルギー材料,計測工							
		生・計測) 前方法, ならびに高	フラスマの派達的は 電圧工学の電力機器	への応用等につい	て講義す	る。電気	電子材料,工	ェ、同電エス電加の光 ネルギー材料、計測I	
		学等に1	ついて十分に復習しておくこと。							
受業の進	め方・方法	一次	・演習問題を解くことによって、知識の定着を図る。必ず自分で理解して解くこと。							
		・電気主	上任技術者認定のた	めの選択科目						
		【電気】	Cネルギー分野の応	用科目】						
·辛上		(B-3)	主となる専門分野の		 それらと複合する <i>†</i>	ための他の	の専門分野	の基礎知識を	 :持っている。	
主意点		ĴABÉE孝	教育到達目標評価:	定期試験80%(B-3:	100%), 演習20%	%(B-3:1	00%)			
受業計	画									
		週	授業内容			週ごとの	D到達目標			
後期			ガイダンス(1.0h) 1.高電圧・プラズマの発生・利用(13.0h) ・高電圧・プラズマの物理(1.0h)			· 科目(D位置づけ	、必要性,学	習の到達目標および貿	
		1週				意点を理解できる。 ・高電圧とプラズマの物理・発生・測定を説明でき				
			・高電圧・プラズマの物理(1.0h)							
		2週	・高電圧・プラズマの物理(2.0h)			・高電圧とプラズマの物理・発生・測定を説明できる				
		2,63	· 同电圧・フラスマの物理(2.0H)							
	3rdQ	3週	・高電圧の発生		・高電圧とプラズマの物理・発生・測定を説明できる。					
		AND .				° ・高電圧とプラズマの物理・発生・測定を説明できる				
		4週	・高電圧の発生							
		5週	・高電圧の測定(2.0h)			・高電圧とプラズマの物理・発生・測定を説明できる				
						- タイナトが存在の毎年時点も翌月ファナフ				
		6週	・気体の絶縁破壊(2.0h)			・気体および液体の絶縁破壊を説明できる。				
		7週	・液体の絶縁破壊(2.0h)			・気体および液体の絶縁破壊を説明できる。				
		8週	中間試験			001+	+ **====	тш 4л — —		
		9週	答案返却・解答解2.インパルス高電		・間違った箇所を理解できる。 ・インパルス高電圧の定義・発生方法, 測定方法を記					
			・インパルス言		明できる	3。	"—~~ AL #X			
		10週	・インパルス高		・インパルス高電圧の定義・発生方法、測定方法を訪					
			12,000	・インパルス高電圧の定義(2.0h)			明できる。			
		11週	・インパルス高	電圧の発生(2.0h)		・インパルス高電圧の定義・発生方法,測定方法を調明できる。				
	4thQ	10)18	/> 1011 — -	(南圧の別点/2.21)		・インパルス高電圧の定義・発生方法、測定方法を記				
		12週	・インパルス高電圧の測定(2.0h)			明できる。				
		13週	3.高電圧プラズマの産業応用(2.0h)			・高電圧プラズマの産業応用例を説明できる。				
		14週	3.高電圧プラズマの産業応用(2.0h)			・高電圧プラズマの産業応用例を説明できる。				
		15週	期末試験							
		16週	答案返却・解答解	答案返却・解答解説(2.0h) ・間違った箇所を説明できる。						
		キュラムの	D学習内容と到達 対象と到達を対象と可能を表現である。 ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・	 達目標						
ーーー モデル [・]	コアカリ:		学習内容	学習内容の到達目	 標			至	達レベル 授業週	
	コアカリ:	分野						12		
分類		分野	1, 6, 10							
分類	合	1,3,2,3			能由	ا عب	フォリナ	Z () #	Δ≣↓	
分類 評価割1	合詞	漁	演習	相互評価	態度		フォリオ	その他	合計	
分類 評 価割 1 総合評価	合 討 割合 80	漁	演習 20	相互評価 0	0	0	フォリオ	0	100	
分類 評 価割 1 総合評価 基礎的能	合 討割合 80 力 0		演習 20 0	相互評価 0 0	0	0	フォリオ	0	100	
モデル: 分類 評価割: 総合評価 基礎的能 専門的能 分野横断	合 割合 80 力 0 力 80	験)	演習 20	相互評価 0	0	0	フォリオ	0	100	